

## COP17 サイドイベント傍聴報告

2011年12月6日

社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2011年11月28日～12月9日に南ア・ダーバンで開催中の国連気候変動枠組条約第17回締約国会議 (COP17) において併催されたサイドイベントの傍聴記録です。

■ タイトル：非附属書 I 国向けGHGインベントリ試作ソフトウェアの発表 / “The new UNFCCC software for GHG inventories of non-Annex I Parties”

■ 日時：2011年11月30日 (水曜) 13:45-14:45

■ 主催：UNFCCC 事務局

■ 会場：Durban Exhibition Center (DEC) Blyde River

スピーカー：セルゲイ・コノフ (UNFCCC データサービスユニット Mitigation, Data and Analysis(MDB) Programme マネジャー)、他 UNFCCC 事務局等

### ■ 概要

UNFCCC事務局により、非附属書 I 国 (Non-Annex I) 向けに開発中のGHGインベントリ作成ソフトウェアの試作版の紹介がなされた。

UNFCCCウェブサイト内のページからID入力でアクセスし (図1参照)、ウェブ上でのGHGデータ入力、およびUNFCCC事務局のデータベースとの情報共有化を可能としている。事務局側は、ソフトウェアの利用が開始されれば、現在エクセルシート上で入力したものを事務局へ提出するといった報告作業の手間が省かれることになり、途上国におけるGHGインベントリ開発を促進できるのではないかと期待を示した。加えて、ウェブ上のデータベースを通じて遠隔地からでもデータ管理できるようになることから、各国のデータ状況の把握やインベントリ作成支援の効率化にもつながるとの説明もあった。

### ■ 質疑

Q：いつから利用開始できるのか？

A：少なくとも1年以上先とみている。運営資金を集める必要がある。また、制度整備や利用効率の改善などの課題も解決しなければならない。

Q：試作用ページはあるのか？

A：現在準備中である。

Q：途上国の中には、インターネットインフラが十分に整備されていない国もある。ID 入力してページへアクセスするような作業一つとっても、国によっては複雑すぎるのではないか。代案として、パソコン上で操作できるようにソフトウェアを改善するのはどうか？

A：データや作業の不具合などの管理を一元化するために、ウェブ上のものにした。インターネットの整備が進んでない国でも作業ができるように、オフラインでデータ入力ができるよう現在検討中である。

Q：導入後の課題は何か？

A：キャパシティビルディングである。途上各国の担当官が単独で使えるよう、UNFCCC事務局チームがトレーニングとメンテナンスサポートを提供する計画である。

図1. GHGインベントリ入力ページ案 (UNFCCC事務局作成)

Data entry: Calculations on the server

Data Entry | Data Review | Inventories | Submissions | Users

Sectors/Totals | Energy | Fuel Combustion | Fuel combustion - Sectoral approach | Energy Industries | Public Electricity and Heat Production | Gaseous Fuels | Natural gas

Navigation tree

	2000	2001	2002	2003	2004	2005
[Energy Industries][Public Electric Unit]	1,000	1,200				
- Fuel Consumption	TJ/unit	250	250			
- Fuel Consumption	TJ	250,000	300,000			
- Carbon content						
- C	Gg	25,000	30,000			
- Fraction of carbon stored		0.76	0.76			
- Carbon stored						
- C	Gg	19,000	22,800			
- Net carbon emissions						
- C	Gg	6,000	7,200			
- Fraction of carbon oxidized		0.87	0.87			
- Emission factor						
- C	1/TJ	100	100			
- CH4	kg/TJ	200	200			
- N2O	kg/TJ	100	100			
- NOx	kg/TJ	300	300			
- CO	kg/TJ	400	400			
- NMVOC	kg/TJ	200	200			
- Emissions						
- C	Gg	5,220	6,264			
- CO2	Gg	19,140	22,968			
- CH4	Gg	50	60			
- N2O	Gg	25	30			
- NOx	Gg	75	90			
- CO	Gg	100	120			
- NMVOC	Gg	50	60			



以上

(報告者：OECC 古宮祐子)

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版 [http://www.mmechanisms.org/relation/details\\_oecc\\_COP17report.html](http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_COP17report.html)